

【R 1 8】 ノベル

C F N M

『二人の女教師、男子を全裸にして虐める』 〔女教師と男子生徒の会話形式版〕

作：七条右京

【登場人物】

「花舞学園高校」の美人女教師と男子生徒

- ・ はななか みなみ **花中美波**：美人女教師 1
- ・ うえがみ みつき **上神美月**：美人女教師 2
- ・ あおい りゅうせい **青井 流星**：男子生徒

「」は、台詞

○生徒指導室

女教師二人と男子生徒が向かい合っている。

花中美波：

「青井君、君の処分が決まったわ」

「残念ながら退学よ」

青井流星：

「先生、ボク、退学ですか？」

「何とかならないですか？」

「ボク、先生の言う事何でも聞きますから」

「お願いします」

「退学だけは、許して下さい」

美波：

「先生は理事長の娘だから、なんとかしてあげてもいいわよ」

「但し、タダって言う訳にはね」

「青井君、君みたいな年下の可愛い男のコを見ると、虐めたくなくなって来るのよ」

「だから君の事、虐めてもいいなら、退学は取り消してあげるわよ」

「どうなの？」

「って言うか、君に選択肢はないわ」

流星：

「それで、退学を取り消して貰えるなら」

「先生、ボクの事、虐めて下さい」

美波：

「分かったわ」

「但し、どんな事されても文句は言わない事」

「それから、私の事は先生ではなく、美波様」

「上神先生の事は、美月様と呼ぶのよ」

「君の事は、流星と呼ぶわね」

「分かったわね」

「分かったら、返事をしなさい」

流星：

「分かりました」

美波：

「流星、違うでしょう？」

「〔美波様、美月様、承知しました〕と言うのよ」

「口の利き方には気を付けなさい」

流星：

「美波様、美月様、承知しました」

美波：

「はい、良く出来ました」

「それじゃあ、着ている服を全部脱いで、裸になるのよ」

流星、服を脱いで全裸になる。

上神美月：

「いいカラダ、若い男のコはこれだからいいの

よね」

「気を付けの姿勢よ」

「流星のカラダ、じっくり観察させて貰うわよ」

美月、流星の至近距離から頭、顔、首、胸、腹部、背中、尻、性器、脚を撫で回すように全身を観察する。

美月：

「いいわね、ステキなカラダよ」

「触るわよ、じっとしてなさい」

美月、今度は流星の至近距離から頭、顔、首、胸、腹部、背中、尻、性器、脚を丁寧に両手で触る。

美月：

「肌もスベスベしていいわね」

「顔も可愛いし、私好みよ」

「それにちんぽも、すっかり大人ね」

「あら、私に触られて、興奮したのかしら」